



F・Marinos Sports Club

REPORT 2025





社団理念 / 活動理念

スポーツが持つ無限の可能性に挑戦し、地域社会と共に「夢」と「幸せ」、そして「未来」を創出する。

F・Marinos Sports Club

■スポーツで繋がる、創る

スポーツのチカラで人と人を繋ぎ、地域社会の未来創造のエンジンに

スポーツには、チカラがあります。人と人を繋ぎ、人の心を動かすチカラがあります。

そのチカラで、この街で困っている人を助けることはできないか。この街に楽しいことをもっと増やすことはできないか。

一人ではできないことも、沢山の仲間となら実現できる。

スポーツを、レクリエーションや競技としてだけではなく、人と人を繋ぎこの街の未来を創るエンジンに。

より良い地域社会を創るために、あらゆるテーマで、多くの仲間と。

F・マリノススポーツクラブは全てのひとと、スポーツのチカラでこの街の未来を創ります。

■あらゆる人に、スポーツを

あらゆる人がスポーツを楽しみ、夢を追うことができる環境・機会を創出し、地域社会をスポーツでもっと幸せに

時には、感動と興奮を。

時には、カラダを動かす爽快感を。そして時には、共に楽しむ仲間を。世代・性別・国籍・宗教・障がいの有無。

あらゆる垣根を越えて、全ての人の毎日にポジティブな彩りを与えてくれるもの、それがスポーツです。

誰もがスポーツを楽しむことができ、誰もがスポーツで夢を追いかけることができる。

そんな街になるように、F・マリノススポーツクラブは、この街の皆さんと手を取り合って歩んでいきます。

■この街から、世界へ

世界で活躍できる選手を育成し、子どもたちと地域社会に夢と未来を

「世界で活躍できる選手を育てたい」この街で育ち「トリコロールの誇り」を持った選手が、一人でも多く世界の舞台で活躍する。

それが、F・マリノススポーツクラブが実現したい未来。

この街の子どもたちと共に、この街で育った選手が世界を相手に戦うという夢を。

世界中でプレーされているサッカーだからこそ見ることのできる夢と未来を、

この街の皆さんと一緒に追いかけます。



SDGsの活動を「船」で表し、
17のゴール達成に向けて
航海する姿を表現しています。

シャレン!
Jリーグ社会連携

シャレン! (社会連携活動)

社会活動や共通のテーマ(教育、ダイバーシティ、まちづくり、健康、世代間交流など)に、地域の人・企業や団体(営利・非営利問わず)・自治体・学校などとJリーグ・Jクラブが連携して取り組む活動です。F・マリノススポーツクラブも地域の皆さまと共に様々な活動に取り組んでいます。

トピックス

ホームゲームでの「シャレン！」活動

日産スタジアムで開催されるホームゲームでは様々な「シャレン！」活動を実施しています。

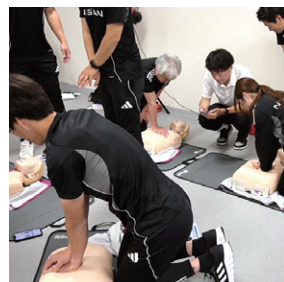
#命つなぐアクション

協力：日本体育大学保健医療学部



シャレン!
Jリーグ社会連携

悲劇を二度と起こさない。スポーツ中の心臓突然死をなくすために。ホームスタジアムやホームタウンのあらゆる場所で、AED・救急救命の普及啓発にクラブ全体で取り組んでいます。救える命を、ひとつでも増やすために。救える術を、ひとりでも多くの人に。



衣料品リサイクル



シャレン!
Jリーグ社会連携

日産スタジアムで開催されるホームゲームにて衣料品回収ボックスを設置し、来場者から不要な衣類を回収しています。不要となった衣類を再利用し、新しい商品を生み出すのが目的です。回収された衣料品やPETボトルなどの再生素材を使用したリサイクルグッズを販売しました。



みんなのケータイリサイクル



シャレン!
Jリーグ社会連携

日産スタジアムで開催されるホームゲームにて携帯電話回収ボックスを設置し、来場者から不要な携帯電話を回収しています。回収された携帯電話は障がい者就労施設にて分解されています。



LEADS TO THE OCEAN 海につづくプロジェクト



シャレン!
Jリーグ社会連携

17回/1,280名

スポーツと清掃活動を軸に、海・自然環境への意識を高め、次世代に美しい自然を残すためのプロジェクトです。「海にゴミは行かせない!」を合言葉に、街から海に流れるゴミを減らし、本来の美しい海・環境を取り戻すためにホームゲームを中心に活動を行っています。



SDGs FES 2025

難しいイメージのあるSDGsについて、まずは気軽に参加してみて、楽しみながら理解を深め学べるイベントとして実施しています。2025年は初となる多文化交流としてブラジル文化を学ぶブース出展やサンバ披露会を実施。その他各自治体や企業様とSDGsに関するブースを展開しています。



スポーツで繋がる、創る

地域との連携

ホームタウントリコロール化



ホームタウンをトリコロールに染めることで、街に彩と活気を創り出します。



JR小机駅構内装飾



新横浜駅ベストラリアンデッキ



新横浜ヴィスタウォーク階段装飾



新横浜駅前公園(一部施設)①



新横浜駅前公園(一部施設)②



大和市「LUCKY BOX」



横浜買市 佐原IC出口

横浜市

交通局マナー啓発コラボポスター



協力：横浜市交通局、横浜ビー・コルセアーズ

横浜市交通局と横浜ビー・コルセアーズ(バスケットボール)と連携し、横浜市営地下鉄で掲出されているポスターです。利用者に交通マナー(整列乗車、席のゆずりあいなど)の向上を呼びかけています。



生物多様性に係る普及啓発

協力：横浜市



シャレン!
Jリーグ社会連携

横浜市と生物多様性への理解、環境に優しい行動の促進を図るため、普及啓発特化したものとして全国初となる「生物多様性に係る普及啓発協定」を締結しています。



©1992 Y.MARINOS



港北区フレイル予防MMダンス

協力：港北区役所、総合リハビリテーションセンター、一般社団法人チアリーダース協会

横浜市港北区がフレイル(虚弱)予防を目的に製作したオリジナル体操です。横浜市総合リハビリテーションセンターが監修し、横浜F・マリノスの公式サポーターズソングに合わせ、チアやサッカーの動きを取り入れたダンスとなっています。



©1992 Y.MARINOS





横須賀市

企業版ふるさと納税

横須賀市とともにスポーツを核としたまちづくりの推進や地域の活性化を目的として様々な取り組みをしています。

「F・マリノスDAY」

ホームタウンである横須賀市の魅力を感じていただくため、3カ所のスポットを用意し「ウォーキングフォトスポットラリー」を開催。最終地点の「いちごよこすかポートマーケット」では参加者限定の抽選会を実施しました。



五者連携「F・マリノス ビンゴ de ラリー」

2022年12月に締結された「久里浜地区のスポーツを核としたまちづくりに関する五者連携基本協定」に基づき、東日本旅客鉄道株式会社横浜支社、京浜急行電鉄株式会社、横須賀市と共同で、横浜F・マリノス×横須賀市ホームタウン20周年記念「F・マリノス ビンゴ de ラリー」を開催しました。



LUCKY GET大作戦／LUCKY BOX

ごみの散乱のない清潔できれいなまちづくりを推進するため新たに始まった清掃イベント「LUCKY GET大作戦～ごみ拾いは運気をあげる～」にマリノスケも参加しています。また、街に落ちているごみを拾った際に、気軽に捨てられるように試験的な取組として大和駅前に設置されたボランティア専用回収ボックス「LUCKY BOX」は、F・マリノスカラーに装飾され、市民にきれいな街づくりを呼びかけています。



F・マリノスくりはまカップ

横浜F・マリノストップチームの練習場で開催される「F・マリノスくりはまカップ」横須賀市・久里浜地域の皆さまと協働し「スポーツのチカラ」でホームタウンをさらに盛り上げていきます。



横須賀市立総合医療センター

2025年に横須賀市久里浜に移転された「横須賀市立総合医療センター」小児科医に塾口選手が訪問をしました。



大和市

大和市立図書館

横浜F・マリノス展示コーナーの常設設置に加え、8月にマリノスケが一日館長に就任。来館者とのふれあいや、神奈川県赤十字血液センターとのコラボで、献血イベントを実施しました。その他にもコラボデザイン読書手帳配布や、選手写真のラッピング本棚など、年間を通じて新たな取り組みを行い、ホームタウンとしての認知度向上、施設の来場促進に繋がりました。



大和市エンジョイサッカーwith横浜F・マリノス

スポーツを「する」「みる」機会を提供することで、市民のスポーツへの関心を高めることを目的として「年中・年長」「小学1～6年生」を対象としたサッカー教室を開催しました。



スポーツで繋がる、創る

防災 / 献血

ホームゲーム消防ブース・マリノスケ 一日港北消防署長就任

協力：横浜市消防局、港北消防署



JリーグとLINEヤフー株式会社主催の防災意識向上を目的にしたイベント「ソナエルJapan 杯2025」のスタジアム防災訓練「動いてソナエル」を実施しました。マリノスケが「一日港北消防署長」に就任し来場者と楽しみながら防火・防災について学びました。



F・マリノスDAY献血



協力：神奈川県赤十字血液センター、一般社団法人チアリーダース協会、横浜市政府、大和市役所、横須賀市役所

献血を広めていくため、様々な活動を行っています。2025年は、横浜市、横須賀市、大和市の各市役所で「F・マリノスDAY献血」を実施しました。



マリノスケ「神奈川県献血広報大使」



消防車・救急車ステッカー啓発

協力：横浜市消防局



横浜市消防局と連携し火災予防・救急車の適正利用を目的とした啓発として消防局が所有する消防車236台、救急車116台にコラボステッカーを貼り啓発活動を実施。消防車両のステッカーはモバイルバッテリーの使用方法や、火災ゼロ、救急車適正利用の呼び掛けなどのデザインを採用し広報を続けている。



携帯トイレパック広報活動

協力：横浜市資源循環局、横浜市下水道河川局



災害時の必須アイテムである携帯トイレパックを周知する取り組みを実施。日産スタジアムで開催されるホームゲームにて「災害用ハマコトイレ」について学ぶブース出展やトイレパック配布、災害への備えに関する広報活動などを実施しています。



熱中症啓発動画

協力：港北区消防署



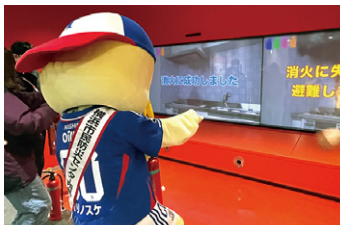
港北消防署と連携した熱中症啓発動画・音声メッセージを製作。2025年6月～10月までの5ヶ月間、港北区区内を走行中の消防車両や港北区庁舎内、日産スタジアムのホームゲームで投影・発信。また、動画は港北区役所公式Xと、横浜市消防局公式Xにも投稿され、地域の住民に向けて消防局と連携した啓発活動を実施しました。

防災コラボイベント実施マリノスケ一日防災センター所長

協力：横浜市消防局、横浜市民防災センター、一般社団法人チアリーダース協会



2024年より連携している横浜市民防災センターでのイベント。スポーツを通してエンターテインメント要素を取り入れ、楽しみながら防災の知識を学んでもらうことを目的に、実施しました。2025年は横浜F・マリノス公式キャラクターのマリノスケが一日防災センター所長に就任し、会場を盛り上げました。





F・マリノスプロジェクト



9校

ホームタウン内の小・中学校キャリア教育の一環として、社会参画や地域貢献に対する意識を高める為、児童・生徒が横浜F・マリノスや地域課題を主体的に考える取り組みです。



Jリーグ環境教育授業



Jクラブホームタウンの小学校を対象に、子ども達が授業を通して気候変動の現状や原因を学び、身近な行動変容を促すこと、気候アクションについて子どもたちと一緒に認知を広げ、気候アクションを応援してくれる人々を増やしていくことを目的とした「Jリーグ環境教育授業」がスタート。

横浜F・マリノスではプライマリー追浜のコーチを務める金井 貢史コーチが「Jリーグ気候アクションアンバサダー」に就任し、横浜市内の小学5年生を対象に「Jリーグ環境教育授業」を実施しました。



職業講話



13校

ホームタウン内の中学校を対象に「働く」ことの意義や目的、F・マリノスの仕事内容などを伝えています。



クローバープロジェクト

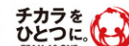


障がい児の“真の自立”を目指した活動を実施している「クローバープロジェクト」のキャストが、ホームゲームにて観客席の椅子拭きや、マッチデーガイドの配布などのお仕事体験を実施しました。



復興応援活動(岩手県山田町・宮城県東松島市)

サステナブル復興応援パートナー：株式会社 成城石井



岩手県山田町、宮城県東松島市をはじめ、東日本大震災で、災害に巻き込まれた地域を応援する活動を継続的に実施しています。



あらゆる人に、スポーツを

共生社会の実現へ（インクルーシブ）

横浜F・マリノスフットーロ



シヤレン!
Jリーグ社会連携

116回/128名

Jリーグ初の「知的障がい者サッカーチーム」として2004年に発足。現在約130名が在籍し、楽しむ、技術を習得するだけでなく、サッカーを通じて時間を守る、挨拶をするなど社会人としての成長を目指しております。選手たちは、さまざまなクラブイベントのサポートスタッフとしても参加をし、社会との繋がりも深めています。



GENUINE WORLD CUP 2025



横浜F・マリノスフットーロが、2025年7月27日(日)～8月3日(日)の期間にアメリカ(ヒューストン)で開催された「GENUINeworldcup2025」に参加いたしました。この大会は2024年から始まった知的障がいおよび発達障がいのある選手のための国際大会で、2回目となる今大会はアメリカ、ヨーロッパを中心に世界22ヶ国38クラブが集まり開催されました。横浜F・マリノスフットーロは今回が初参加で、大会参加チームの投票により決定するBest Energy Awardsの第2位に選出されました。



全国知的障がい者サッカークラブ選手権 ～ジャトコカップ2025～

特別監修：ジャトコ株式会社 協賛株式会社ツワイ 株式会社ハイテック・システムズ 日産トレーニング株式会社



11月22日(土)～24日(月・祝)に静岡県時之栖スポーツセンターにて「全国知的障がい者サッカークラブ選手権～ジャトコカップ2025～」を開催いたしました。本大会は全国のクラブチームが日頃の成果を発揮する場とネットワークづくりを目的とし、ジャトコ株式会社様と共に2015年より開催しています。なお今回は過去最長の3日間にわたり開催。全6クラブが参加しました。



あらゆる人に、スポーツを

ふれあいサッカープロジェクト



ふあんたいむ



25回/170名

知的・発達に障がいのある小学生・中学生を対象としたサッカー教室を定期的に行っています。



電動車椅子サッカー大会

特別協賛：ジャスコ株式会社/協賛：株式会社ツツイ/イリソ電子工業株式会社



シャレフ!
Jリーグ社会連携

Powered by JATCO 横浜F・マリノスカップ 第20回電動車椅子サッカー大会を開催しました。電動車椅子サッカーの魅力を伝えると共に、地域社会の障がい者スポーツに対する理解度、関心度の向上、競技の普及・育成を図ることを目的に2002年より大会を開催しています。



ふれあいサッカープロジェクト エンジョイフットボール



28回/1,304名

成人の方を対象に定期的に行っています。運動の機会を増やし、身体を動かす楽しさや仲間と汗を流す場を提供しています。



WOMANサッカー



41回/411名

平日の午前中を中心に、女性を対象とした教室を定期的に行っています。



ランニングクラブ



24回/360名

ホームタウンの様々な場所で定期的に約10キロのランニングをしています。仲間と励まし合いながら一緒に走り、汗を流す運動のすばらしさを伝えています。



理念

トビックス

スポーツで繋がる、創る

あらゆる人に、スポーツを

この街から、世界へ

パートナー 法人賛助会員紹介

あらゆる人に、スポーツを

食育・健康への取り組み／活動実績



サッカー食育キャラバン



180回/14,401名

小学校の体育の授業でボールを使った運動教室(サッカー)の実施と「食」の大切さを伝える活動を30年以上継続して行っています。



食育講話



38回/6,500名

ホームタウンの中学校を対象に、正しい食習慣、年齢に応じた美味しい食生活に関する知識を伝えています。



介護施設でのサッカーエクササイズ

協賛：株式会社ツクイ



高齢者の方々がいつまでも「健康で明るく生活できる社会」を目指して、認知症予防にも重要な運動指導を実施しています。



スポーツだいすき!



主催：大和市/協働：大和シルフィード

20回/493名

大和シルフィードのコーチと一緒に子どもたちへ、体を動かす楽しさやボールを使った運動、試合などを実施しています。



ふれあい活動実績

「ふれあい」の数だけ、この街に笑顔が増えていく。

	2025年2月～2026年1月		累計	
	回数	人数	回数	人数
食育・職業講話	[38回]	[6,500名]	[742回]	[135,110名]
フットーロ(活動回数・登録選手数)	[116回]	[128名]	[1,108回]	-
エンジョイフットボール	[28回]	[1,304名]	[760回]	[24,944名]
WOMANサッカー	[41回]	[411名]	[828回]	[11,611名]
ランニングクラブ	[24回]	[360名]	[238回]	[4,845名]
スポーツだいすき!	[20回]	[493名]	[70回]	[1,861名]
サッカー食育キャラバン	[180回]	[14,401名]	[5,741回]	[485,696名]
障がい者サッカー教室(ふぁんたいむ含む)	[25回]	[170名]	[191回]	[8,042名]
横須賀エンジョイフットボール	[16回]	[379名]	[894回]	[15,997名]
その他(スポンサー教室・イベント等)	[10回]	[442名]	[2,905回]	[75,142名]
合計	[498回]	[24,588名]	[13,476回]	[763,248名]

この街から、世界へ

スクール



理
念

概要

マリノスサッカースクールは、1985年『日産サッカースクール』として発足し、創設40周年を迎え、現在約3,000名の会員が在籍しています。創設当初より「真のスポーツマン」を育てることを目的とし、幼児～中学生までの体力づくり・サッカーの技術向上だけでなく、マナーや協調性、自主性を養い、心身の成長を促し、地域に貢献できる人材育成を目指し取り組んでいます。2018年度からは、新たに大人クラスを開校し、生涯スポーツとして子どもたちだけでなく、大人もサッカーを楽しめる環境づくりをスタートしました。F・マリノススポーツクラブの理念である「スポーツが持つ無限の可能性に挑戦し、地域社会と共に『夢』と『幸せ』、そして『未来』を創出する。」ことの実現に向け、サッカースクールに関わった全ての方々の人生がスポーツを通して豊かになり、「100年先」も「夢」と「幸せ」があふれる街であることを目指して運営しています。



スクール指導コンセプト

「サッカーを通して子どもたちの未来をつくる」を合言葉に、4つのコンセプト「Enjoy=楽しむ」「Aspiration=向上心」「Independence=自立」「Thinking=考える力」を大切にスタッフ一同、指導に当たっています。

Enjoy
楽しむ



Aspiration
向上心



Independence
自立



Thinking
考える力



【会員数】

新吉田校（横浜市港北区）	[382名]	大和校（大和市）	[311名]	追浜校（横須賀市）	[231名]	大人 [279名] (合計：3,003名)
小机校（横浜市港北区）	[160名]	二俣川校（横浜市旭区）	[410名]	リーフスタジアム校（横須賀市）	[182名]	
東山田校（横浜市都筑区）	[235名]	ShunsukePark校（横浜市西区）	[235名]	京急上大岡校（横浜市港南区）	[301名]	
中山校（横浜市緑区）	[131名]			トコローバーズ野辺校（横須賀市）	[86名]	
ライフネット菅田校（横浜市神奈川区）	[60名]					



にじいろくらす

知的・発達に障がいのある小学生が定期的に活動できる場として、2022年にマリノスサッカースクールで開講したクラスです。障がい等の有無に関わらず、スポーツをする喜びや楽しさ、失敗を恐れずにチャレンジしていくことを目標として、クラス名にもある「にじいろ」から7つのアクションにも重視して取り組んでいます。



ト
ビ
ッ
ク
ス

ス
ポ
ー
ツ
で
繋
が
る
、
創
る

あ
ら
ゆ
る
人
に
、
ス
ポ
ー
ツ
を

こ
の
街
か
ら
、
世
界
へ

パ
ー
ト
ナ
ー
法
人
賛
助
会
員
紹
介

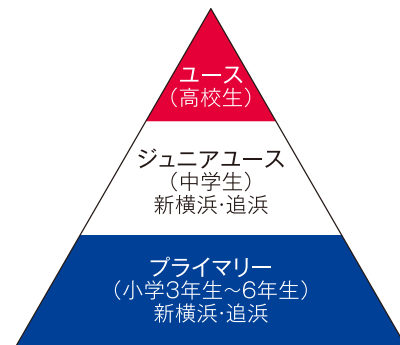
この街から、世界へ

アカデミー



世界で活躍できる選手を育成し、子どもたちと地域社会に夢と未来

横浜F・マリノスアカデミーは、Jリーグ開幕前の1986年から活動を開始し、日本サッカー界に多くの才能、人材を供給してきた歴史ある育成組織です。私たちは、トップチームの「アタッキングフットボール」を基軸に、計画的で一貫性を保った育成プログラムによって、選手一人ひとりの潜在能力を最大限に引き出すことに日々努めています。さらに、国内外の活動を通じて、選手たちがグローバルな視点を身につけ、国際的な舞台でも競争できる能力を養っています。また、育成への情熱を高く持ったコーチングスタッフが選手たちの競技力と人間性双方の成長に注力し、選手たちが国内外のプロの舞台で成功を収めるための基盤を築きます。



FIFA U-17 World Cup Qatar 2025

・大会試合出場数

浅田 大翔:6試合 / 藤井 翔大:5試合

・出場時間

浅田 大翔:416分 / 藤井 翔大:346分

・GOAL数

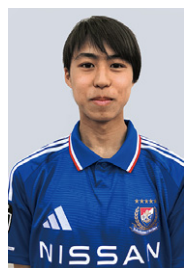
浅田 大翔:1 / 藤井 翔大:1

・Player of the match

浅田 大翔



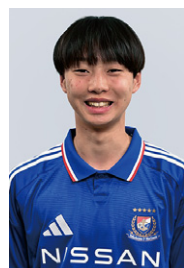
年代別の日本代表候補選手



U-15 藤澤 斗亜



U-15 瀬戸山 玲音



U-15 沢口 栄太



U-16 江川 慶亮



U-16 松永 翔



U-17 藤井 翔大



U-17 加藤 海輝

世界で活躍できる選手を育てるために

アカデミーの選手一人ひとりが、将来の夢や目標に向かってチャレンジする姿勢を育てるために、キャリアデザインのサポートを実施しています。研修や勉強会、職場体験などトレーニング以外の時間も大切にしています。また、地域や周囲の人々への感謝の気持ちを込め、定期的に清掃活動を実施しています。



全国大会(JY)



JFA アディダス DREAM ROAD



JリーグU-15選抜(一列目左から藤澤斗亜・関屋陽生)



Pre-PRO講習



海外遠征(U-13)



海外遠征(U-14)



海外遠征(U-16)



ユース

在籍人数：38名
主な戦績：全国優勝 8回 高円宮杯 JFA U-18サッカープリンスリーグ 2025 第8位/第49回 日本クラブユースサッカー選手権 (U-18) ベスト8



ジュニアユース

在籍人数：新横浜 51名 追浜 52名
主な戦績：全国優勝 9回/高円宮杯 JFA U-15サッカーリーグ関東1部 第7位/第40回 日本クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会 ベスト32/高円宮杯 JFA 第37回全日本U-15サッカー選手権大会出場 準優勝



プライマリー

在籍人数：新横浜 37名 追浜 26名
主な戦績：全国優勝 3回/世界大会第3位 1回/2025年度 JFA U-12リーグ TOP1部:[新横浜:第5位][追浜:第9位]



スポーツで繋がる、創る

パートナーとの連携



はまっ子交通あんぜん教室



24校/4,805名

主催：港北区役所/協力：港北警察署、アネスト岩田株式会社、港北交通安全協会、一般社団法人チアリーダーズ協会

交通事故から子どもたちを守るために、港北区内の小学校で交通安全教室として、横断歩道の歩き方や自転車の乗り方などを伝えています。



フレンドリールーム

協賛：いちご株式会社 協力：横浜こどもホスピス 横浜リハビリテーション事業団



4回/8家族42人

日産スタジアムで開催されるホームゲームにて、病気や障がいなど、様々な事情により一般席での観戦が困難なご家族を招待し、安心・安全な観戦環境を提供しています。



ジップロック®リサイクルプログラム



協賛：旭化成ホームプロダクツ株式会社

サステナブルオフィシャルスポンサーである旭化成ホームプロダクツ様による、廃プラスチック問題の解決に貢献する「ジップロック®リサイクルプログラム」の一環として、ホームゲームのチャレンジ!ブースに使用済みジップロック®の回収ボックスを設置しました。また、使用済みジップロック®を集めて別のプラスチック製品につくり替え、オリジナル傘を作るワークショップも開催しました。



ホームタウン「夢」プロジェクト

協力：一般社団法人横浜サッカー協会



10回/576名

横浜F・マリノスに在籍したOB選手が、少年少女サッカーチームの練習と一緒に参加し、子どもたちが普段聞くことのできない思いや悩みについてOB選手と会話したり、元プロサッカー選手の技術の高さを身近で感じることで、子どもたちに「夢」や「目標」を持つ大切さを伝えています。



パートナー・法人賛助会員紹介

サステナブル オフィシャルスポンサー



サステナブル DX推進パートナー



株式会社IC

サステナブル フードサポートパートナー



F・Marinos Sports Park Partner



ホームタウン「夢」プロジェクトパートナー



法人賛助会員

株式会社アート宝飾 アイグツ株式会社 有限会社I・T・P あくわデンタルクリニック 株式会社アスール Annexe R&D株式会社 株式会社and 池内精工株式会社 株式会社インフィニティ 株式会社オーエムシー 株式会社ALLXS かながわ信用金庫 学校法人上白根学園 上白根幼稚園 北川商事株式会社 木村金属工業株式会社 キンコーズ・ジャパン株式会社 グッドライフサークル東株式会社 株式会社クマザキエム 株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン QUEBRA VILLAGE さくら不動産管理株式会社 株式会社三我 SANKEIプランニング株式会社 株式会社ジェスコ 一般財団法人シティサポートよこすか 芝浦シヤリング株式会社 株式会社ジャミング 学校法人聖心学園 積水樹脂株式会社 有限会社SENCA 曹洞宗大本山總持寺 株式会社ソーエー 株式会社ソシオネクスト 田中・石原・佐々木法律事務所 弁護士 佐々木好一 T&N保険サービス株式会社 西鉄旅行株式会社 日産スタジアム施設管理共同企業体 株式会社ハリマビステム 西田装美株式会社 株式会社協栄 日本人工芸計画株式会社 ニホンターフメンテナンズ株式会社 株式会社帆風 株式会社ハース ヒトヒト株式会社 株式会社フジタ 横浜支店 株式会社フレックスホーム 株式会社プロント 株式会社ベガサス 株式会社北斗 株式会社マコト 株式会社まるいち 学校法人三浦学園 ユニプレス株式会社 公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立総合医療センター 社会福祉法人横浜共生会 一般社団法人横浜サッカー協会 株式会社横浜総合 レンゴー株式会社湘南工場

理念

トビックス

スポーツで繋がる、創る

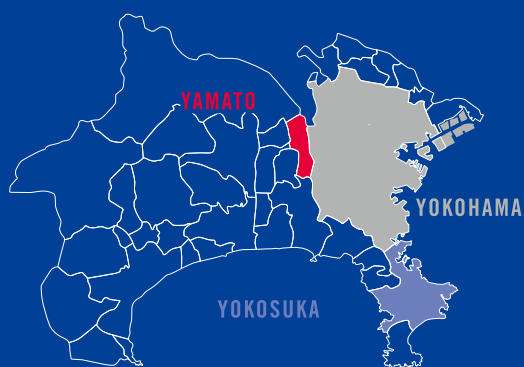
あらゆる人に、スポーツを

この街から、世界へ

パートナー！法人賛助会員紹介

この街が、「100年先」も、
「夢」と「幸せ」に溢れる街であるために。

あらゆる人がスポーツで「夢」を追うことができる、
あらゆる人がスポーツで「幸せ」になれる地域社会へ。
この街のすべての人と、共に。



一般社団法人F・マリノススポーツクラブ

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-3 DSM新横浜ビル5F

MAIL: yfm-hometown@marinos.co.jp

OFFICIAL HOMEPAGE <https://www.f-marinos-sportsclub.com/>

